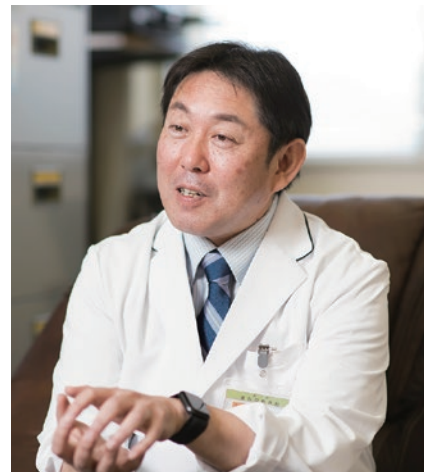


新任教授紹介

口腔外科疾患の治療と研究、地域との連携、歯科医師の育成の三本柱を推進

口腔顎顔面外科学講座 教授 内田大亮

私は教授就任にあたって3つのことを進めていきたいと考えています。1つ目はライフワークである口腔がん、顎変形症、口唇口蓋裂の治療と研究です。当院の歯科口腔外科には、愛媛県に在籍する日本口腔外科学会の指導医6名中4名が在籍しており、手術を伴う治療など高度な口腔医療が提供できます。また、医学部内の最先端研究機器を活用した口腔がん転移の早期診断、治療効果予測などの研究を行っています。2つ目は地域の病院や診療所との連携です。高度な医療を必要とする患者さんの治療は、病気を発見してくれる地域の先生方との連携があってこそ成立するものですので、積極的に当院から情報発信をしていきます。3つ目はいい歯科医師を育てることです。当院は愛媛県で最大の歯科臨床研修施設です。歯科の知識や技術の習得だけではなく、医科的知識を兼ね備えた時代と社会に対応できる歯科医師を育成いたします。「愛媛県民でよかった、附属病院の歯科口腔外科で治療してよかった」としてもらえるよう、医局員一同、精一杯治療にあたります。お気軽にご相談ください。



PROFILE

うちだだいすけ◎1995年徳島大学歯学部卒業。2001年徳島大学歯学部助手、2014年より獨協医科大学医学部准教授となる。2019年より現職。「澹泊明志 寧静致远」(諸葛亮孔明)が座右の銘。